

# 保育等子育て環境の充実について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、厚生労働省

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間の中でも、保育所や放課後児童クラブは開所し、安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに育つことができる環境を維持してきた。こうした役割を踏まえ、改めて子育てニーズに対応した人材の確保等について以下の措置を講じていただきたい。

○保育士、幼稚園教諭の人材確保に向けて、まずは、全職種の平均年間給与水準に見合う程度の給与改善（約140万円）が確実に実施されるよう必要な予算を十分確保いただきたい。

○放課後児童クラブの人材確保に向けても、放課後児童支援員等が長期的で安定した就業を継続できるように、人件費や処遇改善のために必要な予算を十分確保いただきたい。

○また、地域の実情に応じて子育て環境の充実を図るため、病児保育事業の補助基準額の引き上げなど、地域子ども・子育て支援事業について、「量的拡充」及び「質の向上」に必要な予算を十分確保いただきたい。

## 【現状・課題等】

■京都府の保育士の求人倍率は4.93倍となっており、保育士の確保が困難な状況

京都府における 求人倍率	保育士	幼稚園教諭	全職種
	4.93倍	3.58倍	1.68倍

※出典：一般職業紹介状況（職業安定業務統計）（令和2年1月分）

■全職種と保育士の給与差は約140万円/年あり、有資格者が他職種に就業する一因

※全職種の平均年間給与水準までの給与改善には、京都府で約45.6億円が必要

京 都 府 の担当課	健康福祉部 こども・青少年総合対策室(075-414-4631) 文化スポーツ部 文教課(075-414-4518)
---------------	---

【国の事業等】

■概算要求〔内閣府〕

- ▶ 子どものための教育・保育給付等 1兆4,744億円+事項要求  
(令和2年度予算1兆4,744億円)
- ▶ 地域子ども・子育て支援事業 1,639億円+事項要求  
(令和2年度予算1,639億円)

【京都府の取組】

■全職種と保育士、幼稚園教諭の給与差の状況

	令和元年	差額	平成30年	差額	前年度増減	差額
	全体	500.7万円		497.2万円		3.5万円
保育士	363.5万円	137.2万円	357.9万円	139.3万円	5.6万円	▲2.1万円
幼稚園教諭	366.7万円	134.0万円	360.2万円	137.0万円	6.5万円	▲3.0万円

※出典：平成30、令和元年「賃金構造基本統計調査」（厚生労働省）

- 放課後児童支援員等は、児童の健全な育成を図るため、一定の知識や技能を必要とされるが、給与水準の低さや非常勤職員として不安定な雇用の者も多く、離職する要因

- ・京都府内の放課後児童支援員等の就業状況

区分	職員数	構成比
常勤職員	1,035	46.3%
非常勤職員	1,200	53.7%
計	2,235	100%

※出典：令和元年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（令和元年5月1日現在）（厚生労働省）

- ・放課後児童支援員の処遇に関する状況（1人当たりの年間給与額）

支給方法	給与（手当・一時金込）	
	月給で支払われる者	常勤
	非常勤	204.1万円
時給で支払われる者	常勤	125.9万円
	非常勤	94.1万円

※出典：平成28年度「放課後児童健全育成事業に係る実態調査」（内閣府）